

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵石守
所在地	(〒 675 - 0005) 加古川市神野町石守 301-4-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

地域密着型サービスとして、その人らしさを大切にご利用者様の住み慣れた地域で、可能な限り生活できるようサポートさせていただきます。
また看護小規模多機能の機能を活かし、退院後のサポートや看取りの支援を行い、自宅で生活する上で医療面等で不安を抱えておられるご本人・ご家族様の不安を軽減できるよう全力を尽くして参ります。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 10 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 27 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (2) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (2) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (____) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (____) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (____) 人 <input type="checkbox"/> その他 (____) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>前年度はコロナ禍で感染予防に留意しつつ、看多機の機能性を損なわない事業運営が課題となっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所、利用者一体とした感染予防 ・細やかな情報共有 ・コロナ感染時期でもサービス継続できる体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類になったことで、感染対策は継続しつつ、利用や面会の制限については緩和した。 ・BCP（業務継続計画）を作成。感染症まん延時の対策を検討した。 ・陰圧室を設置し、使用方法を周知。 	<p>今年度コロナ、インフルエンザの集団感染はなし。利用者様と情報共有を密にし、コロナ罹患者発生時も陰圧室を活用し、まん延を防ぐことができた。自宅療養中の代替訪問も実施し、サービス提供の継続に努めた。</p> <p>次年度は、看護小規模多機能としての機能性を向上できるよう、夜間の吸引やより高度な医療への対応力をつけれるよう体制の構築を目指す。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>チーム制をとり、対象利用者に対しカンファレンスを実施し、生活支援シートを定期で更新することで、支援の方向性を統一する。看護師、セラピストからの意見も柔軟に取り入れ、利用者の特性・変化に応じたサービスを提供する様務める。</p> <p>医療との連携を密に図ることで、様々な症例を支援し、医療ニーズの高い中重度の利用者様の受け体制を拡大していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の増員を行い、医療ケアのある利用者のケア方法の統一や指導を起こった。 ・利用者様の介護計画評価のため、チームカンファレンスを実施した。 ・セラピスト1名が異動となり、適宜利用者のADL評価に介入してもらった。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理者や看護師が主治医と密に連絡を取り合い、状態変化に応じて必要な医療処置の指示を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護体制を厚くし、体調変化時には迅速に対応し、対応方法の周知を行った。 ・看護師からの意見も柔軟に生活支援シートに取り入れ、利用者様の特性・変化に応じたサービスを提供できた。 ・生活リハビリが実施できるようセラピストが評価し、リハビリの時間を設けることができるような体制を構築中。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者様を多く登録し、継続支援できた。 ・主治医と電子カルテ等の活用で状態の分かる写真の送付も頻回に実施し、その

			<ul style="list-style-type: none"> ・退院前カンファレンスには概ね看護師が同席し、退院調整に携わり医療ケアに対する支援、指導を行った。 	時々の必要な処置を実施できた。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)</p>	<p>アフターコロナの時期となり、地域のイベントの参加や、買い物や外出支援を実施する。</p> <p>病状が重度化しても、自宅で過ごせるようサービスの調整を行いながら看取りまで対応できる体制作り。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員様より地域の情報を頂き、夏祭りや外出支援、買い物支援を実施した。 ・定期や緊急時の受診支援を実施。 ・独居の方の在宅看取りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスとしての認識をしっかりと持ち、地域包括ケアの一員として、地域にますます貢献していきたい。 ・独居、認知症、医療ケア、看取りなど様々な問題を抱えつつ、希望する生活の実現に向けたサービスの提供を継続できるよう今後も柔軟なサービスの提供ができる体制をつくる。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)</p>	<p>看護体制の構築により、医療ケア必要者への対応ができる体制、介護士を含めた健康管理や喀痰吸引等の対応力向上に努めた。看取りまでみれる体制の構築を行った。</p>	<p>前年度看取り件数2件。独居の方の看取りにも対応した。夜間を含めた吸引への看護師の対応と、介護士への喀痰吸引等研修の実施。</p>	<p>胃ろう・創傷処置・吸引等を在宅で管理できるようサービス提供を行うことができた。個々の対応が必要な薬剤管理の事故防止に関して、更に対策を講じる必要がある。</p>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>看護小規模多機能としての機能を地域で活かせることができるよう、より高度な医療への対応力をつけることができるよう看護・介護の体制の構築を目指す。</p> <p>昨年度、在宅看取りの件数が2件と少なかった。</p>	<p>看多機で医療ケアや看取りまでの対応ができることを地域に啓蒙していく。デスカンファレンス等のミーティングを行い、ケアのブラッシュアップを行う。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、介護士合同のミーティングを毎日実施し、利用者様の状態に応じたサービス内容への変更を適宜行うことができた。 ・利用者に応じた生活リハビリを作成し、現場で積極的に取り組めるようにしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングは継続し、チャットワークを活用して全体周知ができるような取り組みは継続していく。 ・理学療法士によるリハビリプログラムの作成と生活リハビリ担当者によるリハビリやポジショニング等の取り組みは強化していく必要がある。
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>退院カンファレンスには看護師が参加し、在宅への移行がスムーズに行えるよう本人・家族指導を行った。</p> <p>各主治医と連携し、状態報告や処置の確認、緊急時の対応を行った。</p> <p>運営上の困り事に関しては運営推進会議や都度包括支援センターや加古川市へ相談を行ってアドバイスをもらっている。</p>	<p>退院後、段階的に自宅への移行ができるようサービスの調整を行いうまくいっているため、今後も利用者のニーズに合わせてスムーズな在宅調整を進める。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>「看多機」の機能を知ってもらうための地域への啓蒙活動は行なえていない。</p> <p>今まで受入できていなかった夜間吸引が必要な利用者も現在は受入れ、介護士の喀痰吸引等の実地研修をすすめている。</p>	<p>次年度はささえあい協議会にて地域住民への「看多機」の役割について説明する機会をいただく予定。</p> <p>喀痰吸引等の実地研修は継続して進め、介護士の吸引+看護のオンコール体制で24時間吸引が必要な方の受入れを積極的に行う。</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<p>看護師が管理者となり、看護師の増員や併設訪問看護との連携により、医療ニーズのある利用者の受入れ体制は以前より推進できた。医療との連携により、切れ目のない退院支援もできた。</p>	<p>看多機としての地域への理解をもっと深め、地域資源の効果的な活用や、地域住民への相談支援など、地域に根差した施設になるよう、取り組みを講じていきたい。</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	4	9		1	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>	
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>看護小規模多機能だからこその包括的な支援を実践するためにスタッフ一丸となり努力している。</p> <p>医療ニーズの高い利用者様においても、ご家族の負担を軽減し最期まで希望する生き方の実現ができるよう支援することができている。</p> <p>理念は事業所内に掲示してある。</p>							
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	9	3		<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>	
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>日の出プライド・ゆとり庵石守の理念を掲示し職員への周知を促している。</p> <p>理念に沿って利用者様、家族様の要望にできる限り寄り添ったサービスの提供を実施。利用者それぞれに介護計画書を作成し実践している。</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	3	6	3	2	<p>[具体的な状況・取組内容] 全ての職員について育成計画を作成、新人については教育担当職員を選出し中長期的な育成を実施。 社内外の研修を受講可能な環境を提供し知識向上の機会を会社としてフォローしている。 人事考課制度も定期的にも実施しており、自己評価・目標達成を明確化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	6	2	3		
		<p>[具体的な状況・取組内容] 介護職の喀痰吸引等の研修を順次実施している。 月1回社内研修がある。 法人からの受講案内も適宜あり、職員自身が受講を選択できる環境が整備されている。資格取得推進制度もあり、今年度1名、介護支援専門員の試験を受験し合格した。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	4	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます 	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> カンファレンス、リーダー会議、毎日の昼礼、チャットワークを使用し随時問題提起や情報共有、解決策の話し合いができており介護・看護間でも互いに相談しやすい環境である。</p>					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	7	3		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します 	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 議事録は職員全員が閲覧可能な場所にファイリングし設置している。 会議で得た助言はサービス提供に反映するよう努めている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	3	9	1		<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>急な欠勤者が発生した場合はスタッフ全員でフォローできており有給休暇も取得しやすい。</p> <p>無駄な残業もない。</p> <p>1日の業務分担が明確であり、やむを得ない場合は職員間で助け合い、業務を遂行できている。</p> <p>研修の時間や妊娠等職員の事情に合わせた労働時間の配慮もしており安定したモチベーションが続くよう努めている。</p> <p>年1回の健康診断も実施したり就業規則の公開も行っており職員1人1人の権限を守っている。</p>					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	11			<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>チャットワークや毎日の昼礼を活用し利用者様や家族様、主治医などからの情報</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		はすぐに共有できるようになっており。 遅出や夜勤の職員へも共有できている。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	10	1		<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ヒヤリハット・事故報告書を活用し事故に対する予防対策をとっている。 社用車すべてに AI ドライブレコーダーを搭載。毎日アルコールチェックを行い安全運転への意識を強化している。 万が一事故が発生した場合は連絡手順のマニュアルがある。</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	9	4		<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 年2回避難訓練（日中・夜間を想定）を行っており災害時のBCPがある。 職員の連絡網を都度更新している。</p>				<p>BCPにおいて、地域との助け合いをどうするかを決めているのか。ゆとり庵以外の地域の方への支援が必要になる場合も想定して、BCPを改定していく。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		10	4			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者様本人のできる事、家族様のできる事を確認し、24時間の暮らしを安全に過ごしていただけるようアセスメントを行っている。 グループごとに担当が決まっているので、目が行き届くとともに急な変更もすぐに情報共有が可能である。</p>					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	4	7	2			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつ
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 介護職と看護職、両職種でカンファレンスに参加し話し合い、共有できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							き合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	3	9	1			<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 利用者様、家族様とコミュニケーションを図りニーズを把握、介護計画に取り入れている。 利用開始時や状態変化時に利用者様や家族様と随時相談できており、支援シートに反映している。 要望には少しでも応えるように心がけており、出来なかった事が出来るよう尽くしている。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		13				<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容] 現在可能な能力を最大限安全に活用する支援を介護計画に取り入れている。 セラピストからの助言ももらい、生活リ</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		ハビリ計画も作成している。 家での生活を出来る限り行える様訪問も 行えている。					立した日常生活を営む」ために、 必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏ま えた計画が作成されている		12	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、 利用者等の状況変化を早期 に把握し、計画への適宜反 映が行われている		11	2			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 介護職、看護職が状態変化を昼礼で共有し早期発見に努めている。 定期的にカンファレンスを行い利用者様の状態変化に合わせて毎月評価し必要時には計画の修正を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		6	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	10	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		<p>ている。</p> <p>家族様と受診されている場合は、必要時 看護師より主治医へ電話や FAX 等で連 携し、指示確認をおこなっている。</p>					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が 行われている	3	10				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活 かした役割分担」について、充足 度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこ とが重要です
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている	5	8				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	4	8	1		<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>	
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	12	1		<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		る。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11	1		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します	
		<p>[具体的な状況・取組内容] ケアプラン、介護計画、看護計画書を交付し、同意をいただいている。 家で生活していくためのお手伝いをする施設であることを普段の会話の中に入れて話をしている。 繰り返しわかりやすく説明し、不安要素を一緒に取り除いていくよう努めている。</p>					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	12			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します	
		<p>[具体的な状況・取組内容] 看護師が説明し、理解いただいている。 また、看護師が家族へ直接指導する等、不安なく在宅で生活できるよう支援に努めている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	6	8			<p>✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します</p>	
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 適宜ケアマネなどにより利用者様、家族様の希望や思い大切にし、状態の変化に合わせて柔軟にサービスを提供。在宅での生活が続けられるよう、少しでも不安が軽減できるよう希望や意向を聞き出し、サービスに反映している。</p>							
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	3	6	3		<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>	
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医、利用者様本人、家族様と利用者の状況、状態やリスクの想定等を伝え具体的な相談ができています。</p>							
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明	4	8			<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし</p>	
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医との連携を強化した上で、看取り</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	した内容や利用者等の意向等を記録として残している	の同意書を取り説明内容や意向を記録している。 最後まで本人様の要望を聞き、できる事は対応している。					で残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	3	7	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	8	4			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておく

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		と連携を取り情報共有できている。 訪問看護指示書に緊急時の連絡先が記載 されており確認は行えている。					ことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	1	8	2			✓ 「即座な対応が可能な体制の構 築」について、充足度を評価しま す
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 介護士、看護師ともにオンコール体制が 整っており、緊急時に迅速に対応可能。 事前に緊急時の対応につちえは主治医や 家族と打ち合わせており、個々の利用者 に合わせた対応を実施できている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている		6	1	1		✓ 「利用者のために必要となる、介 護保険外のサービスやインフォ ーマルサポート等を含めたケア の提供について、多職種とともに 検討・支援を行っていくなどの取 組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことが ない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 2 か月に 1 回の運営推進会議は今年度か ら集合形式で実施できている。 必要時、ケアマネより民生委員、地域包 括支援センターへの情報提供が行われて いる。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	5	1			✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 職員全員が閲覧できるよう、ファイリングし玄関に設置している。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		4	3	1		✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] 積極的な啓発活動は行えていない。					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対	2	2	1			✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	象とした訪問看護を積極的に実施している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 今年度、併設の訪問看護ステーションが機能強化型訪問看護の指定をとり、看取りや難病、小児の訪問看護を実施している。 別府のサテライトを含めると1ヶ月の利用者約270名、総訪問件数約1700件の訪問を実施している。					対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	7	2	2		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする		2	1	7		✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] 設備が整っていないため、積極的な受け入れは行っていない。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	8			<u>看取りの方の急な退院等の受入れが可能かどうかのご質問。緊急的に受け入れにも対応。自宅でも施設でも看取りができ、本人・家族のご意向に沿って対応する。</u>	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の	2	2	3	1	[具体的な状況・取組内容] 看多機が地域包括ケアシステムで担う役割を理解して、必要なサービス提供が出	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果た

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	内容等について理解している	来ている。					すべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	4	5				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	3	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		係者に提案している。 今年度から加古川・高砂市内の多機能連絡会を再開し、事業運営における問題提起を行っている。					要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	4	5	1	<p><u>認知症カフェはゆとり庵尾上が主導となり実施しており、管理者が運営に参画しているため、ゆとり庵石守のご利用者様も時々参加している。</u></p> <p><u>参加者は4～10名くらい。</u></p> <p><u>他の認知症カフェでも交通が不便なため参加者が増えない傾向もあり、工夫が必要。</u></p> <p><u>いきいき百歳体操は毎週実施しており、25名程度集まる。午前中の方が集まりやすいかも。</u></p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者様1人1人に合った計画作成と目標設定を行っており、達成できるよう努めている。	1:3票 2:6票 3:1票 4:0票	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利	① 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている	1:4票	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	<p>利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている</p>	<p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師による医療行為や薬剤管理のサポートができており、医療ケアが必要な方が在宅生活を続けられることができている。 多くの利用者様や家族様から安心感が得られているとお声あり。 365日24時間対応できることで安心につながっている。</p>	<p>2：4票 3：2票 4：0票</p>	<p>者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医、家族様、事業所等が連携することにより状態変化に迅速に対応すること</p>	<p>1：5票 2：3票 3：1票 4：1票 5：0票</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>ができています。 訪問、泊り、通いのサービスをニーズに沿って調整し対応することが利用者様、家族様の安心感につながっている。</p>		<p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>